

今年度はコロナの影響で、道徳地区公開講座が実施することができませんでした。代わりに、本日の道徳の授業の様子を公開させていただきますので、どうぞご覧ください。

まずは、1年A組。教材「あったほうがいい？」を読み、ゴミ問題について学び、街をきれいにするにはどうすればいいか、どんな心構えが大切かを考えました。まずは、自分で考え、それからグループで話し合い、全体発表してから、最後はまた自分で深く考えました。班の話し合いでは活発に意見を出し合い、しっかり意見をまとめ発表することができていました。



次に2年生の様子です。

2年生は、全日本男子の代表監督井上康生さんの話「初心」を元に、初心に返るとはどういうことなのか学びました。スランプの原因やスランプに陥った時の考え方を自分で考えた後、意見を発表しました。友達の意見を聞き、また自分に戻して考えを深めることができました。



次は、3年生の様子です。

3年A組は、教材「No charity, but a Cheance!」を使って、自分の価値観にとらわれるのではなく、多角的に物事をとらえる大切さを学びました。

3年B組は、山中伸弥教授の話「IPS細胞で難病を治したい」を使用しました。挫折を乗り越えることが成功をつかむために大切であること、成功＝完成ではないことの意味を考えました。

どちらのクラスも、初めは自分で考え、意見を発表したり友達の意見を聞いたりした後、自分に戻して深く考える授業でした。

3年A組は、活発に意見を出し合い、3年B組は、よく考えてじっくりと取り組んでいました。

さすが、3年生。発表する態度も聞く姿勢も最高学年らしく立派でした。



最後にC組の様子です。

教材「人を支えるにはどうすればいいのだろう」を使って、「哀れみ」や「押しつけがましい思いやり」ではない「思いやりの心」について考えました。映像資料を見ながら楽しく理解していました。



後日、各学年の学年だよりにて、今回の授業で出た生徒の意見を掲載しますので、そちらも是非ご覧ください。